

## 第10回（2年）

1. 日 時：令和5年8月2日（水）  
13：30～15：30
2. 場 所：へきしんギャラクシー  
プラザ大会議室
3. テーマ：「おもしろ冠婚葬祭」
4. 講 師：近藤 文男先生  
（安城市ユース・カレッジ）
5. 出席者：22／29名
6. 内 容



○冠婚葬祭の漢字の意味を学んだ。

「冠」⇒一生の祝い事、「婚」⇒結婚、「葬」⇒葬儀、「祭」⇒季節の「行事」

・封筒⇒「蝶結び」（何度あっても良い）と「結び切り」（一度切り）がある。

・贈答⇒「慶事」と「弔事」がある。

・「葬儀」⇒必ず見積もりを取り、最高値と最低値を聞くこと。

・「葬式」⇒故人のため、家族のため、友人・知人のために行うもの。「香典」は家族葬であつても断らない方がよい。（後々の対応のためにも）

○次の項目について話を聞きながら、各々考える時間であった。

・65歳を過ぎたら無理をしないように      ・人には感謝の心で接する。

・自分の周りの簡素化（年賀状を辞める、お中元・お歳暮を辞める）等々

## 7. 感想

自分のために心から泣いてくれる人が5人いたなら、その人の人生は成功だ、といった人がいます。本当にそう思えるようになりました。自分の周りのしがらみとか意味のない習慣とかを少しずつそぎ落としても許される年齢になりつつあるのかと思います。恥ずかしいことですが、「蝶結び」と「結び切り」の意味の違いは初めて知りました。学びは一生ですね。

